

# 数え100歳 百寿のお祝い

## 孫を案じる優しいおばあちゃん

満99歳を迎えた小山つめさん(◎水戸辺)に、2月1日(火)、町から百寿のお祝い金などが送られました。

つめさんは、子ども1人、3人の孫、8人のひ孫に恵まれ、海苔の養殖や農業を手伝いながら健やかに暮らしてきました。おだやかな性格で縫い物が得意なつめさんは、子どもや孫のために「どんぶく」などをたくさん縫ってあげたそうです。また、孫のことをとてもかわいがり、部活などで帰りが遅くなったときは、心配して近くの橋の上まで出迎えに行ったそうです。

現在は、ベッドの上での生活を余儀なくされていますが、体調は健康そのもので、孫の皆さんが顔を見せると、週2回の訪問入浴を楽しみにしています。

これからも、ますます元気にお過ごしください。



健康の秘訣は、好き嫌いなく何でもたべることだそうです



町長から花束を渡されると「ありがとうございます」とお礼の言葉を話しました

## 女性のハートを射止めるエンターテインメント

2月2日(水)、「女性が彩る観光まちづくりチャレンジ事業」の報告会が高野会館で行われ、関係者や一般町民など130名以上が、エンターテインメントな報告会を楽しみました。

この事業では、町内の女性有志で構成されるプロジェクトメンバーが中心となり、「きりこ通り」や「アジアン・デイ」など、様々なチャレンジが行われてきました。この日は、スライドショーや朗読家による朗読により活動報告がなされたほか、プロジェクトメンバーが考案した「南三陸スイーツ」の試食会も行われました。

一般参加した渡邊由紀子さん(◎袖浜)は、「女性として活動できる場があることが分かったので、自分も何か行動を起こしてみたいと思います。」と話してくれました。

※13ページにも関連記事を掲載しています。



試食会では、地元産のりんごや黒豆のほかたくコを使った珍しいケーキなども！どれも大好評でした

## 自然科学の楽しさを学ぶ

1月26日(水)、志津川高等学校で理系進学コースの3年生を対象に、自然環境活用センターの横濱康継所長による特別授業が行われました。

この日は、「海藻の光合成」と「色素分析」をテーマに実験が行われ、横濱所長が発明した「簡易プロダクトメーター」という実験器材などを使用しました。コンブが呼吸していることや藻類が持つ様々な色素の分析など、普段は学ぶことができない特別な授業に、参加した皆さんは興味津々で耳を傾けていました。

山内猛弘さん(◎廻館)は、「見たこともない器材にふれることができ、楽しく勉強できました。」とレベルの高い実験内容に満足したようでした。



簡易プロダクトメーターを見つめ、コンブの呼吸の量をはかる山内さん

## 歌って踊って楽しいコンサート

1月28日(金)、入谷小学校で「マウンテンマウスふれあいコンサート」が開かれ、全校児童105人が、歌や踊りの楽しい時間を過ごしました。

マウンテンマウスは、山口県周防大島出身の兄妹で、全国各地の学校や福祉施設などでコンサートを開いています。この日も、ジャンケンをしながらかう「ロロロンカップ」などの楽しい曲を披露。子どもたちは、体をいっぱい動かして一緒に歌っていました。

コンサートが終わると、西城浩樹さん(◎童子下)が「一生の思い出になると思います。ありがとうございました。」とお礼の言葉を話し、児童全員で作った古代米などをプレゼントしました。



ジャンケンで勝ち残った子どもたちには、オリジナルの帽子がプレゼントされました

## 4月からはこの教室でがんばります！

2月4日(金)、今年の4月に入学予定の子どもたちが小学校での生活を体験する「1日入学」が町内の各小学校で行われました。

名足小学校では、16人の子どもたちが1年1組の教室に集合。初めは、少し緊張している様子でしたが、手遊びやお絵かきをしているうちに緊張もほぐれ、先生からの問いかけにも元気な声で「はい！」と返事をしていました。

阿部史歩ちゃん(◎北の沢)は、「今日は、お絵かきをするのが楽しかったです。4月からは、元気に学校に来たいです！」と笑顔で話してくれました。



先生と手遊びをしているうちに、いつもの元気を取り戻してくれました



みんな興味津々でレンズをのぞいていました

## 澄んだ星空は「きれいだね！」

1月21日(金)午後7時から、図書館が主催する「冬の星空観察会」が松原グラウンドで行われ、厳しい寒さの中24名の家族連れなどが参加しました。

参加した皆さんは、講師を務めた阿部長栄さん(◎名足)の解説を聞きながら、天体望遠鏡を代わる代わるのぞき、オリオン座やプレアデス星団(すばる)、木星などを観察しました。また、この日は満月で、月面の様子をはっきりと見ることもできました。

普段肉眼ではなかなか見られない星々の姿に、大人も子どもも夢中になり、「きれいだね。」「見えた！」などと感激した様子でした。

## 貴重な文化財を後世へ残すために

1月23日(日)、伊里前の民俗資料館で文化財火災防ぎょ訓練が行われ、町や文化財保護委員会、消防関係者など約80人が参加しました。

この日の訓練は、「伊里前小学校裏手から出火し、民俗資料館に延焼する恐れがある。」という事態を想定して行われました。地域住民と婦人防火クラブの皆さんによるバケツリレー訓練や消防団員による放水訓練など、参加した皆さんは、実践さながらの訓練に真剣な表情で取り組んでいました。

伊里前会会長の熊谷健一さん(◎伊里前)は、「伊里前地区でも自主防災組織結成の準備中であり、今日の訓練は大変参考になりました。」と話しました。



バケツリレーでは、息の合った消火訓練が行われました